

# ワーカーズ

http://www.workers-net.net/  
mail workersnet@workers-net.net



毎月1日発行 1部150円 半年1000円(郵送)

PDF判 年1200円

郵便振替 00180-4-169433 (ワーカーズ社)

2022/9/1 634号

## 今号の内容

- ・戦後最悪の安倍政権——安倍「最長政権」を振り返る—— ②④
- ・旧統一教会の教義の核心部分とは何か ④
- ・バイオマス発電——自然エネの拡大と住民との調和はあるのか？ ⑤
- ・書籍紹介 満洲国の歴史を学ぶ本⑤⑥
- ・「エイジの読書室」第2回 ★「誰が永山則夫を殺したのか／死刑執行命令書の真実」(中) ⑥⑦
- ・何でも紹介「次世代に伝えたい音楽と絵画とお話とギフト」 ⑦⑧
- ・コラムの窓…… ⑧
- ・沖縄を再び戦場に！ 沖縄と仙台をつなぐオンライン集会に参加して ⑨
- ・川柳 2022/9作 石井良司 ⑩
- ・色鉛筆…… ⑩

## 自民党はカルト旧統一教会との関係を切れ！

政府は8月26日の閣議で、安倍晋三元総理の国葬に2022年度予算の一般予備費から2億4940万円を支出すると決めました。警備費用などは、35億円ぐらいかかるようです。

国葬には、法的根拠がないので実施すれば違法です。

安倍元総理の「国葬」中止求め 大  
学教授や作家など署名呼びかけ

参議院選挙の応援演説中に銃で撃たれて亡くなった安倍元総理の国葬まで一か月余りとなる中、大学教授や作家などが、国葬の実施が憲法で保障する思想の自由に反するとして、中止を求める署名活動を始める

と発表しました。署名活動を始めるのは、東京大学の上野

千鶴子名誉教授や、作家の落合恵子氏、東海大学の永山茂樹教授、高千穂大学の五野井郁夫教授など17人です。

17人は、9月27日に行われる安倍元総理大臣の国葬が法の下での平等や思想、良心の自由などを保障する憲法に反するなどとして、インターネット上で中止を求める署名活動を行うと。

旧統一教会は霊感商法や  
合同結婚式が社会問題に

旧統一教会とはどんな団体か、フランス

の経済紙「レゼコ」は襲撃事件後、欧米では「カルト宗教」と認識されていると報

じました。上越教育大の塚田穂高准教授(宗  
教社会学)は「活動の基軸はあくまで宗教  
的理念と実践。その活動の中において多く  
の問題を抱え、人権侵害や違法行為を積み  
重ねてきた宗教団体だ。他の宗教一般と同  
列には扱えない」と話します。

旧統一教会は教祖の故・文鮮明氏が  
1954年、韓国で創設し、間もなく日本  
でも布教活動が行われ、1959年には日  
本の旧統一教会ができました。ホームペー  
ジによると、教義は文氏が考案した「統一  
原理」と呼ぶ思想・理論によって、理想の  
家庭や世界平和を実現する指針を与える  
と。

宗教学者の島蘭進氏は「ある時期までは、  
『異端のキリスト教』という枠内にあった  
と思うが、1970～1980年代にかけ、  
非キリスト教化し、同時期に霊感商法に傾  
いていった」と。島蘭氏によると、新興宗  
教の中では比較的若い人の入信が多く、高  
学歴の者も少なくなかったと。「現代文明  
への失望感が背後にあった。また、離婚が  
増え始め、家族的な道徳基盤を求める人の  
流れもあっただろう」

多くの信者を獲得したが、1980年代  
には、先祖供養などを名目につばや宝石と  
いった高価な品を訪問販売する「霊感商法」  
や巨額の献金が社会問題になりました。歌

手の桜田淳子氏が1992年に信者である  
ことを明かし、教団が配偶者を推薦する合  
同結婚式に参加したことも話題になりました。  
この合同結婚式は信者の「婚姻の自由  
を侵害する」として違法と判断された判決  
も出ています。2000年には、旧統一  
教会系の企業が米国の通信社UPIを買収  
したこともニュースになり、この企業は米  
保守系日刊紙ワシントン・タイムズも所有  
しています。

理念の近さで「右派政治家と互  
に利用」

旧統一教会が拡大していく過程で見過  
せないのが、政治との関係です。特に旧統  
一教会の実質的な政治部門として機能して  
きたのが、保守系政治団体「国際勝共連合」  
(勝共連合)だとされる。

勝共連合は1968年、文氏が韓国と日  
本で設立しました。目的は反共運動。時代  
は東西冷戦が激しさを増し、米国はベトナ  
ム戦争を泥沼化させていました。共産主義  
の脅威が今より切迫して語られていまし  
た。初代名誉会長には、右翼の人物で戦後  
政界のフィクサーと言われ、日本船舶振興  
会(現日本財団)の会長を務めた笹川良一  
氏を迎えました。岸信介元首相を名誉実行  
委員長とする集会も開かれたと。

塚田氏は「勝共連合の設立経緯から岸信  
介や福田赳夫といった理念的に近い保守政  
治家と結び付いていた」との認識を示し  
ます。その上で、「今は改憲や家族観、反  
ジェンダーフリーなどで考えが合致する政  
治家との距離が近い。団体にとっては理念

の実現や運動が守られることへの期待が  
あるのだろう。一方で、政治家は選挙な  
どで支援が得られる。右派政治家と団体  
がお互いに利用し合う関係になってい  
る」と。

第2次安倍政権でさらに接近

問題となつていく安倍氏との関係はど  
うなのか。

「各地の紛争の解決に努力してきた韓  
鶴子総裁をはじめ皆さまに敬意を表しま  
す」。昨年9月、旧統一教会の友好団体  
「天宙平和連合(UPEF)」が開いた大  
規模集会「シンクタンク2022 希望  
前進大会」に、安倍元総理がビデオメッ  
セージを寄せました。

鈴木エイトさんによると、安倍氏と旧  
統一教会との関係の深まりは、2012  
年総理に返り咲いて以降になり、憲法改  
正と長期政権を目指す安倍氏や自民党に  
とって、「組織票に加え、秘書や選挙の  
運動員などの人員を提供してくれる旧統  
一教会は有用な存在だった」。

9月24日発売の週刊文春は、岸田文  
雄総理大臣の熊本の後援会長が、旧統一  
教会系団体の会議の議長だったと報じま  
した。また、第2次岸田内閣では政務三  
役(大臣、副大臣、政務官)78人中旧  
統一教会との関連ありは35人もいま  
す。

カルト教団である統一教会との関係を  
切れない自民党政権、みんなの力で退陣  
させましょう。

(河野)



# 戦後最悪の安倍政権

安倍元首相の死後、国論を二分した安倍政権に対し、“安倍元首相の意志を継ぐ”など、“神聖化”の押しつけが始まっている。9月27日には内閣の一存での国葬が設定されている。銃撃事件から二ヶ月になるうかという今、冷静に安倍政権の功罪について振り返ってみたい。

## ◆最悪の政権

私は、安倍政権を性格づける言い方として、周囲の人に“最低の政権”ではないが“最悪の政権”だと言ってきた。なぜ“最悪の政権”なのか。それは、安倍元首相が《戦後レジームからの脱却》を掲げ、あの戦争への反省から再出発したはずの戦後日本を、再び戦前体制へと逆戻りさせる政治を貫いた、と受け止めているからだ。

要するに「保守・反動」だ。今ではあまり使われなくなった言葉だが、《戦後レジームからの脱却》という旗印は、戦前の国家・国権至上主義体制の復権を目論むものだった。安倍元首相は《日本を取り戻す!》という選

# ――安倍《最長政権》を振り返る――

中曽根政権も同じような政権だった。中曽根元首相は、安倍政権と同じような《戦後政治の総決算》という旗印の下、“大統領的な首相”を目指すなど、強力な国家リーダーが率いる国家体制をめざした。

両者とも、民主主義という当事者主権、要するに国の主権者は国民ひとり一人にあるという民主主義国家の“建前としての大前提”を矮小化し、主権は《国民》ではなく《国家》にこそある、という立場からのものだ。

それでも両者は、水面下ではいざ知らず、基本的な議会制民主政治のあからさまな蹂躪にまでは踏み込まなかった。

安倍元首相は、戦後民主主義の根源とも言える戦争放棄や専守防衛体制の露骨な否定や、憲法条項や国家・政府の私物化など、あの戦争への反省など蔑視するかのような《逆流》《反動》に邁進してきた。あの戦争への反省姿勢の取りやめ、安保法制での解釈改憲、憲法条項を無視する臨時国会召集義務の拒絶、挙げ句の果ては露骨な公文書の破棄・改ざん等々だ。

安倍元首相は、選挙に勝った自分は何をやっても許されるという、憲法や法律より、自分が上位だと振る舞った。《法治国家》を否定し、まさに《人治国家》化を推し進めたのだ。これらは憲法体制と民主政治の最低限のレッドラインを超えた悪辣なものだった。

ちなみに、私が《最低の政権》と思うのは、政権発足直後の参院選に敗北し、元芸者の女性に「これで愛人にならないかと、指3本立てた」でスキャンダルに見舞われ、たつた二ヶ月後に総辞職に追い込まれた宇野宗佑政権だ。

## ◆安倍政権の実績？

岸田首相が《国葬》をするに値すると判断した安倍政権の実績・遺産とは何か。

安倍元首相の《国葬》を一方的に決めた岸田首相は、安倍元首相の功績として、憲政史上最長の政権だったこと、日本経済を再生させたこと、日米同盟を基軸とした外交で米国の重要な同盟国としての地位を獲得したこと、などを理由として挙げている。

しかし本当にそうなのか。むしろ安倍元首相が自身の内閣の重要課題に掲げたほとんどが失敗、あるいは成果なしに終わっているのが現実だ。

以下、安倍元首相が掲げた政策課題をざっと振り返ってみる。

## イ) 《戦後レジームからの脱却》

憲法改定に関して、安倍元首相は《改憲4項目》を打ち出したが、首相のかけ声での憲法改正を忌避する声も多く、実現していない。

安倍元首相は、第一次政権を発足させた直後、憲法改定に向けた橋頭堡のごとく、強引に教育基本法改定を実現させ、また、改憲の

や大企業の内部留保は膨らみ続けている。他方では、賃金は低下傾向から抜け出せないまま、ありもしない“トリクル・ダウン”という“疑似餌”にまんまと振り回された9年間だった。

## ハ) 安倍政権下での経済の推移

そんなアベノミクスの実績はどうだったか。第二次政権発足時の2012年と退陣時の2020年の経済指標がある。

(表)――1 挿入

| (表) アベノミクスの始まりと終わり――経済指標 |         |           |       |         |
|--------------------------|---------|-----------|-------|---------|
|                          | 2012年   | 2020.8.29 | 他より作成 | 2020年   |
| 実質GDP                    | 498兆円   | 485兆円     |       | 485兆円   |
| 潜在成長率                    | 0・8%    | 0・9%      |       | 0・9%    |
| 日経平均株価                   | 10230円  | 23203円    |       | 23203円  |
| 為替相場                     | 85円36銭  | 106円31銭   |       | 99・9倍   |
| 実質賃金指数                   | 104・5   | 99・9      |       | 99・9倍   |
| 有効求人倍率                   | 0・83倍   | 1・11倍     |       | 1・11倍   |
| 完全失業率                    | 4・3%    | 2・8%      |       | 2・8%    |
| 企業の内部留保                  | 304・5兆円 | 484・4兆円   |       | 484・4兆円 |
| 国債残高                     | 705兆円   | 947兆円     |       | 947兆円   |

この指標を見れば、アベノミクスの実態が浮かび上がる。円安で輸出企業を中心に企業利益は膨らみ、日銀の株買い(ETF)もあって確かに株価は上がった。雇

安倍元首相の功績とされる《外交》でも同じだ。

## ニ) 外交

第一次政権で米国から歴史修正主義だと批判されたことを受け、第二次政権では何としてでも米国政権に食い込みたいとの思いから、就任前のトランプにわざわざ彼のフロリダの住居まで訪ねていったことも、その一つの現れだった。西欧の指導者が、トラン

これがアベノミクスの到達点なのであり、アベノミクスが何のため、誰のためのものだったかが一目瞭然だ。

## ホ) 北方領土

安倍元首相が政権の大きな課題に挙げ、自身のレガシー(《政治的遺産》)にしようとした北方領土返還も頓挫した。

安倍首相は、ロシアのプーチン大統領との個人的関係を深めることで返還を実現しようと、経済協力や27回にもおよぶ首脳会談を行った。さらに18年11月のシンガポールでの首脳会談で、最後のチャンスだとして、それまでの4島一括返還を棚上げして2島返

## ヘ) 拉致問題解決――対話と圧力

安倍元首相が内閣を改造するたに「拉致問題の解決は安倍内閣の最重要課題」だとしてきた北朝鮮の拉致問題はどうだったか。

拉致問題の本格的な解決のためには、植民地時代を含めた過去の清算、平和条約交渉との同時解決が不可欠だ。02年9月の小泉首相訪朝でもそれとセットではじめて拉致家族5人を連れ帰ることができた。

が、家族会と支援団体《救う会》の一部、安倍元首相などの対北朝鮮強硬派は、それが容認できない。《対話と圧力》という対朝スタンスに関しては、オバマ政権やトランプ政権が対話に傾いても、常に《圧力》優先の姿勢をプッシュしていたのが実情だった。

そんな態度で金政権が日本の要求を受け入れるはずもない。それも承知の安倍元首相にとっては、北朝鮮と金体制は打倒の対象ではない。仮にそれができなくとも、拉致事件や対外緊張を演出す

手続き法である国民投票法も成立させた。

が、その強引な手法が反発を受けたり、従軍慰安婦問題などで、米国から歴史修正主義だと批判され、最後は本人の健康問題で退陣(政権放り出し)を余儀なくされた。

## ロ) 経済成長――アベノミクス

第二次政権が発足すると、表面きはアベノミクスという経済・生活重視の姿勢を前面に押し出した。が、選挙が終わるたびに、国家改造にのめり込み、本来違憲とされてきた集团的自衛権の行使に道を開いた。15年の安保法制の強引な制定で、明文解決ではなく“解釈改憲”で軍事優先体制への道を突き進んだのだ。

《戦後レジームからの脱却》を実現させるために、まずは政権浮揚の思惑から有権者受けする、景気や生活を支える経済成長を目指したアベノミクス。財政出動、金融緩和、成長戦略という《三本の矢》を掲げたが、やったことは企業が一番活動しやすくするという法人税減税と大衆酷税の性格を持つ消費税引き上げだった。成長戦略は、ほとんど空振りで、経済規模では世界に占める比重は下がり続けている。

それでも、憲法遵守義務を負う行政

しかし、大企業にやさしいアベノミクスで、結果的に多国籍企業



る“瀬戸際政策”など、金政権への批判は、安倍元首相や極右勢力にとつて都合が良い反共宣伝の欠かせない“外交カード”として利用してきたのが実情だった。

## ◆安倍政権の負の遺産

安倍政権が憲政史上最長政権になったことが、即、多くの実績を上げたからでは無いことは明らかだ。では逆に、安倍最長政権の負の遺産はどういうものだったのだろうか。

安倍政権の罪については、これまででもことあるごとに指摘してきたので、ここでは簡条書き程度に止めておく。

- ・改憲による《戦争ができる普通の国家づくり》
- ・国家機密法(《特定秘密保護法》)、共謀罪など、戦前回帰も含む国家中心主義
- ・モリ・カケ・桜での身内びいきの腐敗政治、公文書の廃棄・改ざん――政権の私物化
- ・安倍一強政治の確立で“法治国家”から“人治国家”へ
- ・利益を貯め込む大企業や増大する富裕層、対する賃金低迷と相対的貧困率の増加など格差拡大
- ・自由で開かれたインド太平洋――対中国封じ込め――新冷戦体制づくりへの主導的加担

## ◆反転攻勢へ

安倍政権は《最悪の政権》であったことを振り返ってきた。そんな中、安倍元首相への襲撃事件で、思わぬ自民党政権の“暗部”も露出した。旧統一教会との癒着だ。



自民党はこれまでも、国粋団体のフイクサーや裏社会と通じ、あるいは統一教会や日本会議、神社本庁など、宗教団体との癒着もかねてから指摘されてきた。その他、産業界も関連する体制派の情報・教育ネットワークとも繋がっている。それが今回の銃撃事件を機に、統一教会と自民党、中でも安倍派とのズブズブの癒着関係が日々暴かれている。安倍政権が最悪の政権だというのは、これらも含めてのことだが、そうした実態が、必ずしも有権者や住民に十分伝わっていなかったのが現実だ。

安倍政権に対する評価はもともと大きく分かれていたが、現時点での統一教会をめぐる癒着構造が露わになったことで、安倍元首相の国葬への賛否も大きく分かれている。むしろ批判意見が多いようだ。これは、市民・有権者が政治的健全性を保持している証左だろう。

安倍元首相の国葬は、安倍政権の階級的・歴史的役割や負の遺産を覆い隠し、逆に、その神聖化を押しつけるものであって、その中止を突きつけていく必要がある。書店では安倍礼賛本が平積みになっているが（人集りはなし）、安倍政権の神聖化と礼賛の押しつけに反対し、安倍政治と対決できる対抗戦略と陣形を形成していきたい。（廣）

## 旧統一教会の教義の核心部分とは何か

今回から旧統一教会に関する連載を何回か連載したいと考えている。

まずは旧統一教会問題を考える上での前提となる教義の核心部分を解説する。

勿論、旧統一教会は、教義はキリスト教の教典でもある新旧約聖書に基づくとしている。本当だろうか。以下の十の箇条書きを読み、読者にはその可否の判断をお願いしたい。

- ① アダムとエバがサタン（蛇）の誘惑によって犯した原罪とは、神の赦しを得ないで姦淫したことであり、それが人類の不幸の源泉である。
- ② アダムとエバの墮落以来の人類の歴史は、神とサタンの闘いとして展開しており、歴史上の大きな出来事であるルネサンス、宗教改革、世界大戦などのや歴史上の大きな思想・文化の諸潮流をこの観点から位置づけられる。
- ③ 天皇を含めて全ての人間は墮落人間であり、再臨のメシアによる「祝福」（＝神公認のカップルになること）を受け原罪が清算されない限り、⑥ 韓国は世界を支配するアダムの国、日本は韓国に従属するエバ国である。ゆえにアダム国家になる予定だった韓国を植民地化し、韓国の文化を破壊した罪深いエバ国

家日本をアダム国家韓国の植民地にすること、天皇を自分（文鮮明）にひれ伏させることが必要である。日本は自分の持つものすべてを韓国に惜しみなく与えなくてはならない。だからその罪を清算するために日本人は、韓国に徹底して奉仕しなければいけないのである。

⑦ エバは、一人前になる前の幼いアダムを育てる責任を負うように、もともとサタン側だった日本は、神とメシアに対して大きな負債を負っている。だから再臨のメシアである文教祖夫妻の韓国やアメリカなどでの「闘い」を日本は物心両面で支えねばならない。

⑧ イエス・キリストは、本来地上に神の王国を作らねばならなかったが、ユダヤ人が受け入れなかったたので、彼の使命は未完成に終わる。イエスの十字架は、神の敗北である。

⑨ 歴史の最後に再臨のメシアが韓国に現れ、地上を支配するサタンの勢力を打ち破り、韓国は世界に君臨し、地上に神の国を完成するのである。

⑩ 全ての人類は、再臨のメシアによって原罪を清算され、罪のない子孫を生み増やさねばならない。

解し、再臨のメシアが韓国に降臨して神の国が完成するとしていることに特徴がある。だから旧統一教会は、純潔を重視しメシアによって「祝福」されたカップルの合同結婚式を行うことになる。

だが公式のキリスト教の教義から判断すると、イエスの十字架の死の意義を否定した上、生きている人間（非西欧人である文鮮明教祖）をメシアとして崇め、勝手に「原罪清算」の儀式として、合同結婚式なるものを実行する、とんでもない邪教ということになる。

旧統一教会は一九五〇年代前半から韓国で布教を始め、ミッシェン系の大学である梨花女子大（韓国のお茶大）の教授や学生から多くの入信者が出たこともあって、教祖や幹部たちと女性たちの間で淫らな行為が行われているとの噂が広まり、それが「淫教のメシア」という悪評につながった。今でもその痕跡とおぼしき血分けの秘事は行われている。

り、神側を代表するのは自由主義諸国である。旧統一教会が、共產主義を理論的に克服することを目指す「勝共理論」を構築し、それを実践する国際勝共連合を創設し、広く保守系の政治団体や言論・財界人を巻き込んでいこうと活動することには、以上のような教義上の要請がある。

現在、日本のマスコミは靈感商法や高額献金といった金銭絡みの問題で、日本にだけ多額の献金を求められることに対しての批判が連日ようになされている。だが、これまた旧統一教会の教義上からの要請と理解することが重要である。

具体的には高額の献金をして、必要な人材を、海外宣教や事業展開のために派遣することだ。一般の日本人には、過去の韓国の植民地支配に対する日本人の罪の意識を利用した理不尽なものにしか考えられないが、信者たちにはそれが自分たちの救いだけでなく、日本という国家全体のサタンの支配からの霊的解放につながると信じている。だから高額の献金をするよう求めるし、ある程度の財産を持つている信者はそれに応じるのである。

旧統一教会と自民党との深い関係の分析については、次回の記事としたい。（直木）

## 自然エネの拡大と住民との調和はあるのか？

先月「輸入バイオマス発電についての学習講演＋シンポジウム」に参加しました。

学習講師はバイオマスの専門家、泊みゆきさん。

また宮城県石巻市や角田市、仙台新港バイオマス建設に反対する住民・若者、そして仙台南港石炭火力PSその後の反対運動などの報告ありました。バイオマス発電&計画は地元住民から厳しい批判が挙がっています。

「自然エネルギー」ならば何でも良い・ではない。とはいえ適切に拡大利用すべきなのは言うまでもありません。温暖化と気候危機が迫り、化石燃料の劇的削減が求められており、自然エネはどうしても飛躍してほしい。エネルギー危機も発生しているな

か市民はどう考えてゆくべきなのか？

■バイオマス利用は自然保護と一体で

木々は大気中のCO2を吸収し蓄積し成長するので、後に燃焼させてCO2を発生させてもある種の「循環」が成り立つ。しかし、燃焼は一瞬、木々の再生は数十年以上かかる。燃焼時に放出されるものと同等の量のCO2を吸収する森林がよみがえるという要件が前提だが、その検証は世界的に存在しない（森林減少が現実化している）。つまりカーボンニュートラルのためには、何といっても森林保護にしくはない。自然森林はCO2を蓄えつつ成長しいずれ腐敗するが、CO2は大気中に放出

されるだけでなく同時に土壌にも堆積される。森林は地球にとって（酸素供給源であるばかりでなく）大切な炭素の貯蔵庫（カーボン・シンク）だ、この理解が大切。

■輸入バイオマスはグリーンウォッシュ（緑の偽計）だ

日本などは木質ペレットを製造するために、廃材や間伐材ではなく多数の木を（伐採し）丸ごとベトナムや北米から輸入する。これでは温暖化を加速させるだけです。木々の燃焼時に発生する熱量あたりのCO2排出量は、石炭よりも木質バイオマスの方が多い。木質ペレットの加工・輸送もCO2排出量として加算されるべきとすれば、さらにカーボンニュートラルから大きく逸脱する。日本のFIT認定の八割が「輸入バイオマス」であり、だから問題なのです。



森林伐採とメガソーラ



参照：ウィリアム・ムーア元IPCC報告執筆者からのビ

■自然エネの拡大と住民との調和はあるのか？

迫りくる気候危機に対応するには化石燃料使用の縮小、自然エネの飛躍的拡大が必要です。しかし、上記のように輸入バイオ・メガソーラー・メガ風車団地による

森林破壊は本末転倒であり、まさにグリーンウォッシュ。止めるべきです。七月には関西電力による蔵王山ろくでのメガ風力発電計画も住民の不振が高まりとん挫。他方では屋根置きソーラーの普及や断熱改築推進制度などを拡充（全額補助とか）すれば何も巨大開発である必要はない。新築戸建てに設置義務化するなどで押し進めるべきだ。自然エネを活かす道

はメガ開発の真逆にありそうです。電気・熱を必要とする人たちが近場で、地産地消この分散型の特色で環境負荷を下げながら経済社会を運営する必要があるようです。いよいよ脱成長も真剣に考えましょう。

また、コバルト採掘、リチウム採掘などの乱獲問題も直視しなければなりません。（阿部文明）

## 満州国の歴史を学ぶ本

●九月十八日は満州事変の日

九月十八日は「満州事変勃発の日」だ。しかし今日、国民のどれだけの人がその歴史を記憶しているだろうか？

十二月八日が「真珠湾攻撃の日」であることは、国民の多くが知っているのと比べて、満州事変や満州国の歴史は、なぜかあまり広く認識され

●岸信介と満州国

なぜなら他でもない安倍晋三元首相の銃撃事件を機に、統一教会や勝共連合と自民党とりわけ岸・安倍一族とのつながりに関心が集まり、その岸信介は「革新官僚」として満州国で采配を振るい、また暗躍もした歴史が思い起こされるからである。

## 書籍紹介



戦前の岸信介は満州国の経営の中心にいて、軍閥や大陸浪人など「裏社会」とのつながりを駆使して、様々



な画策を行なっていたことが指摘されている。

戦後は「A級戦犯」の訴追を逃れ、満洲時代の人脈をもとにアメリカや韓国の諜報組織ともつながり保守派の中心に居座ったのである。

## ●「国葬」で問われること

九月下旬に予定されている国葬を前に、改めて岸・安倍一族に連なる「革新官僚」が満洲で何を行なってきたのか？その後の日中戦争や太平洋戦争に、どのようにつながり、敗戦後の占領政策を経て、どのように形を変えて今日に至っているのか？その歴史を再認識することが求められている。

そこで満洲国の歴史を学ぶために、いくつかの本を紹介したい。

## ●「満洲国」

まず基本的な知識を得るために役立つのが川村湊「満洲国」（現代書館）である。日露戦争から満



## ●「帝国の計画とファシズム」

革新官僚に焦点を当てて満洲経営の特質と、それが日本の政治体制に与えた影響を解明しているのがジャニス・ミムラ「帝国の計画」

## ●「満洲事変から日中戦争まで」

岩波新書シリーズ日本近現代史のひとつとして刊行された加藤陽子「満洲事変から日中戦争まで」は、当時の国際情勢を視野に入れて、日本の外務省・軍部、ソ連、イギリス、アメリカなどの外交方針や軍事戦略の攻防を、克明に検証している。

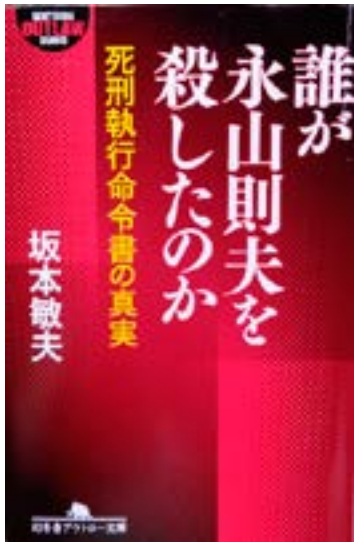
# 「誰が永山則夫を殺したのか／死刑執行命令書の真実」(中) 著者・坂本敏夫

(幻冬舎アウトロー文庫、2014年12月5日初版発行)

前号では、1990年（永山が41歳）4月17日最高裁第3小法廷で安岡満彦裁判長が「本件上告をする」と主文を宣言して直ちに閉廷した事を書きました。

著者の坂本敏夫氏は、「1990年のこの最高裁第3小法廷での上告棄却は、日本文芸家協会入会騒動が最高裁の判断を急がせたのではない」という懸念を私は

## 「エイジの読書室」第2回



持っている。判決を導く膨大になるはずの理由が朗読されることなく、主文だけで閉廷した理由はなんだったのか？と、問いたくなる。最高裁は判決公判を急ぐ余り、判決理由をまともに書かないまま判決に臨んだのではないか、との疑いがある。無期懲役の判決を差し戻しまでの最高裁の対応にしては実に不可解である。この日の最高裁判所の対応は余りにも軽い。命を奪う極刑を確定させる重大なかつ厳肅な判断を示す姿勢とは到底言いがたい。これこそ、

この革新官僚の主導した政治経済体制は、戦後も形を変えて引き継がれてきた。戦後の保守政治体制構築の裏で、岸信介等が統一教会や勝共連合にテコ入れしてきた

(夏彦)

手法は、彼らが満洲で画策してきたことの延長線上にあるとも言えることが、この本からはうかがえるのである。

三審制を保障する司法の根幹を揺るがす暴挙であり、憲法違反の疑いさえあると私は考えている。」との厳しい指摘をしている。

永山則夫は死刑囚であるが、作家として数々の著作を世に出して世界にその名を知られていた。「アムネスティ・インターナショナル」「子記載人権擁護団体」「ドイト作家同盟」などが、それぞれの国にある日本大使館を通じて日本政府に恩赦要請の書簡を送るなどしていた。

その時代の永山則夫の活躍について、「わが国でも永山氏は逮捕時からすでに有名人だった。4つの殺人事件の詳細が逮捕と同時に報道されていた。さらに、被告になり裁判がはじまり永山氏の生い立ちなどが明らかにされるにしたがって、『極悪人・永山則夫』から『気の毒な少年事件被告人・永山則夫』という同情が大きくな

よく七十四歳とは思えない動きで、さすが家元の踊りだった。第一部 「津軽三味線の誕生 仁太坊とマンの物語」

## 次世代に伝えたい音楽と絵画と物語とギョー

5月の初め、知人からコンサートのチケットをもらい友人と出かけた。主催は3・11支援活動から始まった「さくらの架け橋会」で、視覚障害者支援活動シリーズとして音楽会の開催・

ダンデム自転車普及・立体ピクトの設置・被災地慰問コンサートなどの活動を行い今年十年を迎え、歩んできた経験を次の世代に伝えることが大事だと思い、今回のコンサートを計画したという。そのコンサートの出演者の素晴らしい技術と感性に感動したので紹介をしたい。

オーブニングは、かつての音楽が流れると櫻川びん助さん（江戸芸かつばれ豊年齋五代目家元）が法被姿で登場し、背筋がピツと伸びて手足を動かす姿はとてもカッコ

極貧の中、視覚障害者が生き抜く為の道具であった津軽三味線を日本の文化にまでし親に見捨てられた視覚障害者の子も達を個性豊かな指導で立派な津軽三味線奏者に育て上げた「仁太坊とマン」の夫婦の物語。イラストの画像に合わせて「民謡デウオ・はごろも」

（坂越達明さん／滝波俤花さん）のお二人が津軽三味線を弾きながら語っていくのだが、力強い津軽三味線は迫力がありながらも心に染みわたり、仁太坊とマンを一心同体になって語りかけられ涙が出てしまった。また津軽三味線を聞

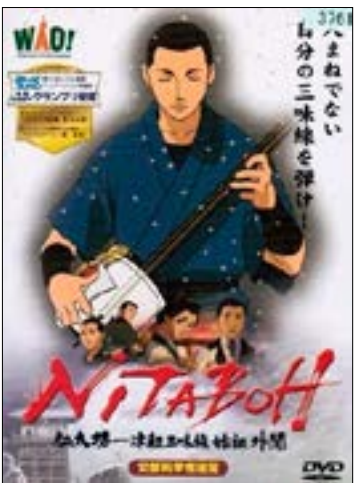
近に聞いたのは初めてで、音色に

第二部 「日本からの贈り物 国歌めの歌」

森谷明子さん（日本画家）が絵画の画像に合わせてお話を始めると、視覚障害のユニット「ツナこうじ」（細川泰典さん・フルート／服部こうじさん・ギター）が絵画に合わせて奏でる美しい音色は別世界にいるような心持になり、お二人が日々修練を重ねてきた音色が心にしみわたった。

そして「月から見た地球」の絵画を見ながら「月から地球を眺めたならば あなたは何を思うだろう 青く青くただ青く かがやく地球のうるわしさ そしてそこに住まう七十億の人々のこと 肌の色が違っても 信じている神様が違っても その人たちのことで涙が流れるのは何故だろう どの国も どの国も 本心に姿は尊く気高く美しい この本をめぐりながら ぐるりと地球をひとめぐり 青く青くただ青く 輝く地球の平安を 祈らずにはいられない

## 何でも紹介





# 沖縄と仙台をつなぐオンライン集會に参加して



★日米共同軍事訓練は群馬県でのもの

■**沖縄を再び戦場にするな**

とされ、国内で唯一住民を巻き込んだ地上戦で、県民の四人に一人が亡くなった。ところが諸島を含めて再び軍事要塞の島となりつつあります。報告者の皆さんは、自ら基地建設やミサイルの搬入阻止のために日々体を張って、地べた



★ハイマースは南西諸島の島しょ戦争の主力兵器。ウクライナで名をはせている。

沖繩（石垣島、宮古島、沖縄島）と仙台をつなぐオンライン集會——琉球弧の軍事化に抗する市民の会（Part 3）ノーマア沖縄戦参加しました。

報告者 ■山里節子さん（石垣島） ★清水早子さん（宮古島） ★山城博治さん（沖縄島）。

琉球弧＝馬毛島、奄美大島、沖永良部島、沖縄本島、久米島、宮古島、石垣島、与那国島……。誰もが知るように自然豊かで、本来平和な島々です。しかし、報告は、自衛隊の基地建設（計画）が強引かつ急速に進んでいることを浮き彫りにしています。

## 沖縄を再び戦場にするな！

に座り込み抵抗を続けています。

「島言葉には〈戦争〉という言葉はない」（山里さん）というのに、戦争は外から政府と軍隊が持ち込む、というかつての悪夢が迫っているのです。

■**「ノーマア沖縄戦 命（ぬち）どう宝の会」設立と活動**

報告者でもある山城博治さんらが、今年春に危機感から立ち上げた会です。多くの方の参加・賛同を求めています。私も四月から会員で、メルマガが届きます。個人加盟だけではなく、鹿児島・愛媛など各地方の会との連帯もあります。今後、全国でのシンポジウムをはじめ、台湾識者との平和交流や、来年は大陸に向いて中国政府に「日米政府が戦争を計画しているが、南西諸島の住民は誰一人として中国と戦う意思はなく平和を願っている」と伝えまた「中

■**島しょ戦争の影と沖縄知事選**

中・日米軍事紛争の暗雲が垂れ込める中で沖縄知事選（九月十一日投票）が関わっています。しかしながら南西諸島の軍事基地化とその日米共同使用の元での軍事計画について議論は盛り上がりつつはいいません。それどころか現職の玉城デニー知事もそれに触れることはない。

に要請文を出しています。

「沖縄を戦争に巻き込む南西諸島の軍備強化、ミサイル要塞化にはつきりと反対を表明」すること「どこの国の軍隊であろうと、いかなる正義を名目とする戦争であろうと、この島を戦場にするには沖縄のリーダーとして許すわけにはいかない」という決意をはっきりと内外に示していただきたい。さらに「日米共同作戦計画の具体的内容を明らかに」するよう求めています。（阿部文明）

### ノーマア沖縄戦 命どう宝の会

⇒お問い合わせまたは参加賛同希望者は  
FAX：0980-55-2245：：  
Eメール：info@nomore-okinawasen.org

い」と語りかけた。青い地球を見ていると世界中の人々が愛おしく思え、二月にウクライナとロシアの戦争が始まり多くの命が失われていた頃だったので、殺し合う戦争はやめて月から青い地球を見てほしいと思った。

それから「日本」の絵画は、優しい色使いで神に支える巫女が描かれ「さくらさくら」の音色を聞きながら「敷島の 日本国は 言葉のたすく国ぞ 世界の平和を祈り捧ぐ」と。この詩は万葉集柿本人麻呂の歌を参考にしたもので、言葉（ことだま）とは言葉には魂が宿っていて言葉によって幸せがもたらされるという日本の古くからの考えだという。言葉によって幸せがもたらされるというのは現代においても通じるものがあると思った。ウクライナもロシアこれ以上戦争を続けるのではなく、武器を置いて何度も話し合っ



を祈らずにいられない  
ない思いが伝わって  
きた本だった。  
コンサートはまさにギフトだったので友人と余韻にしたりながら帰った。（美）

## アベ的政治と選挙制度の関係は？



2代目が放蕩し3代目が潰す・・・、というのは政治屋にも言えることなのか。安倍晋三さんが亡くなり、その政治家としての功罪（ほぼ罪です）が問われています。さて、安倍さんはハダカの王様だったのか、それとも狡猾な独裁者だったのか。とりあえず、大勲位と国葬はきつい冗談と言うほかありません。

東京生まれながら縁ある山口県から衆院選に立候補。それはひとえに政治屋一家のお坊ちゃんとして国会議員になるために必要な「地盤・看板・鞆」の三バンを生まれながらに持って持っていたから。労せず衆院議員となり、労せず総理大臣になり、お友達

の「死票」が出ます。こうした仕組みは、「地盤・看板・鞆」にのみみ付く自民党議員の保身によるものではないでしょうか。1票の重さが問題となり、次の衆院選では「10増10減」の選挙区調整があるように、どこまでいっても公平な投票は実現できません。

と、ここまで考えて、改めて思うのはこの国に住まうすべての人々が選挙権を持つていてるわけではないという点です。国籍の壁が排除を正当化しており、そのことを当然とする多数派の意識があるのは残念です。また、主権者である私たちは受動的な存在ではないのに、この国の明日を誰かに託してしまえばよしとする風潮が支配的です。

暑い夏、コロナも心配、豪雨も心配だけど、それ以上に自民党政治の害悪が心配、無関心でいたら今に、国のために命を・・・なんてとんでもないことを言い出しそうです。とりあえず、「アベ国葬」がとことん惨めな結果になればいいのと思いつながら、秋の訪れを待ち望んでいます。（晴）





票の壺すぐに抜けない議員の手

初登院写真を撮れば夏休み

袖の下覗く五輪のユニホーム

スマホだめ固定電話のしたり顔

孫と子にクーラー嫌い叱られる

錆びついた頭を磨く好奇心(「頭」)

Aの頭脳と競う聡太の手(「頭」)

マニュアルに下げた頭にない誠意(「頭」)

忠告を馬耳東風が掘る墓穴(「東」)

骨太に軍事予算のでかい顔(「太い」)

新調の作務衣が似合うリタイア後(「新調」)

飽食の胃が持て余すフードロス(「あきれる」)

票の壺蜜に群がる自民党(「自」)

三年目コロナろう大花火(「輝」)

コロナ禍の傷心癒す大花火(「花火」)



「死刑になりたかったから」という動機から、8月20日に15歳の少女による母娘傷害事件がまた起きてしまった。生きづらい苦しい「今」から解放されるため「死刑になる」ことを求める。加害被害双方に深い傷を残すだけで、解決にはほど遠い行ないだ。

## 『死刑制度なくしたい』

8月14日の「東京新聞」に、40歳、車椅子ユーザーの伊是名夏子さんが、7月26日、19人の命が奪われた津久井やまゆり園の事件から6年後の死刑執行に寄せて『死刑制度なくしたい』との記事を書いている。少し長いが紹介したい。

「死刑制度がもたらす最悪の影響の1つ

## 色鉛筆



は、死んだらすべてを終わらせることができる、という考えを正当化し、それをまん延させることで死す。死刑制度があるからこそ、日本では自ら命を絶つ人が相次ぐのではないのでしょうか。(略) 命を絶つことこそが最後の償いである、命の重さは決められるというふうには社会全体が考え、肯定しているからこそ、死を選ぶ人が後を絶たないのではないのでしょうか。(略) 死刑制度によって加害者の命を絶つことで問題は終わったと片づけてしまえば、事件が引き起こされる社会環境は改善されません。(略)

理由はあれば命を絶つことが認められる社会は、死んだら苦しみから解放されると思わせたり失敗したら死で償うことがまっとうだと信じ込ませたりします。また、障害のある人には、生きていても意味がないというメッセージを送り続けます。(略) 彼女の言葉ひとつひとつに気がかされる。死刑制度の問題はただ単に司法の中だけではなく、広く深く社会全般に影響を及ぼしているということ。やまゆり園で行われた残虐な行為と、その彼を死刑にした行為とを比べ、一方は死刑が当然、一方は正当であると言えるのか。命を奪うことにかわりはないと私は思う。

世界は着実に死刑廃止に向かっており、2020年末には、法律上・事実上の死刑廃止国は144カ国、世界の7割を超える国々が死刑のない社会を実現した。なぜ日本はいまだに死刑の執行を続けるのか？ 報道のあり方も、むごい犯行の実態や、被害家族、遺族の悲しみが報じられる一方、死刑「人殺し」の現場やそれらを担わされる人々の苦悩苦痛はほとんど公にされない。当然世論は、死刑肯定に傾き易くなるはずで、国も死刑支持の国民が多いのだと主張する。

| 死刑制度をめぐる意見 |                                                                                                                                                                     |
|------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 賛成する理由     | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 裁判・冤罪(えんざい)の問題は、死刑存続の課題とは関係しない</li> <li>2. 凶悪な犯罪は生命で償えない</li> <li>3. 死刑を廃止すると多くの被害者遺族の気持ちに反する</li> </ol>                  |
| 反対する理由     | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 裁判・冤罪により無実の者を死刑にすれば取り返しがつかない</li> <li>2. 死刑は非人道的であり、国家であつても人を殺すことは許されない</li> <li>3. 死刑に凶悪犯罪の抑止力があるか否かは実証されていない</li> </ol> |
| わが国にない理由   | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 被害者、遺族のことを考えると軽々と回答できない</li> <li>2. 個人の哲学、信条にかかわる価値観であるから</li> <li>3. その他</li> </ol>                                      |

問題が起きた時、相互に話し合い再び問題が起こらないよう環境を変えていく必要があるとした上で「人は何があっても平等で、一緒に生きることを受け入れる社会であることを願います。」と。死刑制度を無くそう。